

製品名: Drosha ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87469**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:159 kDa; Observed MW:159 kDa

抗原情報

遺伝子名	Drosha
別名	RN3; ETOH2; RNASEN; RANSE3L; RNASE3L; HSA242976
遺伝子 ID	29102
SwissProt ID	Q9NRR4
免疫原	ヒトドロシャの合成ペプチド

背景

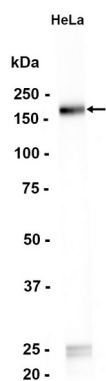
この遺伝子は、二本鎖 RNA 特異的リボヌクレアーゼ（RNase）III をコードし、マイクロプロセッサータンパク質複合体のサブユニッ

トとして機能し、マイクロ RNA (miRNA) 合成の初期処理段階を触媒します。コードされたタンパク質は、核内の一次マイクロ RNA (pri-miRNA) からステムループ構造を切断し、前駆体 miRNA (pre-miRNA) を生成します。pre-miRNA はその後、さらなる処理のために細胞質へ輸送されます。この遺伝子の機能的コピーを欠損したヒト細胞株では、標準的な miRNA 合成が減少します。この遺伝子の体細胞変異は、腎臓がんのヒト患者において観察されています。[RefSeq 提供、2016 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



Drosha ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンプロット分析。